

■飯高諸高(笠目) 日本史上、最も古く記録された女官。歌舞の才で采女として出仕し、廉謹貞潔で典侍まで出世した。

いいだかのもろたか  
不比等確立・698=

生。笠目と同一人物。諸高には薨伝があり、その信憑性に疑義がもたれているが、多少の混同はあってもある程度の事実を伝えるものと解してよい。また飯高氏は同時に笠目、諸高2人の采女を出しているが、両者は同一人物で、最初に現れるのが笠目、のちに諸高に代る。

持統天皇没・702=4歳：

元明天皇即位 707=9歳：

平城京遷都・710=12歳：

光明子入内・716=18歳：

藤原不比等没 720=22歳：

・・・・・・ 725=27歳：

長屋王の変・729=31歳：

・・・・・・ 734=36歳：

藤原四卿没・737=39歳：

墾田永世法・742=44歳：**\*笠目の初見は伊勢国飯高郡采女正八位下飯高君笠目がそれである。飯高郡出身でも郡司家からの貢進ではなく、はじめ氏女として出仕し、歌舞の才能をもって内教坊に奉仕し、性廉謹貞潔のゆえについに同郡の采女に補任されたと考えられる。飯高氏はこの年公姓を賜り、**

大仏造立の詔 743=45歳：

行基初大僧正 745=47歳：笠目は正六位下から外従五位下に昇進、命婦の列に入り、

懐風藻・・・・ 751=53歳：**\*以降、飯高命婦・飯高内侍・飯高笠目の名で孝謙天皇に近侍して經典書写の宣伝に従事、**

大仏開眼・・・・ 752=54歳：

聖武天皇没・756=58歳：

孝謙天皇讓位 758=60歳：この年までに、内侍に進んだことがわかる。

光明皇后没・760=62歳：高野天皇と淳仁天皇は大師藤原仲麻呂第に幸し、この時、笠目は正五位下を授かり、

・・・・・・ 761=63歳：さらに一階を進め正五位上となった。皇太后(光明子)周忌齋供奉の労に報いたものである。

この後、8年間空白が続き、笠目に代って諸高が現れる。

宇佐八幡神託 769=71歳：飯高氏は公姓を改めて宿禰姓になった。

称徳天皇没・770=72歳：**\*諸高は正五位上から従四位下に上り、続いて正四位下を授けられたのが初見で、この時すでに古稀を過ぎ、称徳天皇は没し、奉写御執経所も往年の活況はなかったろう。以後、動静は文献に見られなくなるが、**

第16回遣唐使 777=79歳：**\*没した時は典侍・従三位であった。**